

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課	■担当係	雇用対策係
■評価事業名称	大学生等インターンシップ強化事業		
■事業開始年度	平成28年度		
■評価事業コード	060100 - 353	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上	
	■施策	01 雇用環境の向上	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	管内事業所に対する理解を深める機会としてインターンシップを積極的に展開し、事業所と大学新卒者のマッチングを促進するため、人材確保コーディネーターを1名配置し、受入事業所の開拓と受入プログラムの作成支援を行う。また、参加学生の負担を軽減するため、最寄駅からインターンシップ先までの異動に係る交通費を支給する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	大学生等インターンシップ強化事業	大学生、企業	①人材確保コーディネーター設置 ②インターンシップ企業開拓、リスト作成 ③UIターン希望者相談 ④インターンシップに係る交通費等の補助	①人材確保コーディネーター1名 ②企業支援、新規開拓(プログラム支援2件、インターンシップ実施取材10件、企業開拓7件、うち新規エントリー2件) ③インターンシップに係る交通費等の補助 申請件数29件、利用人数37人、支給総額451,180円④インターンシップ受入企業向けセミナー 2回開催 17社22人参加

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費			2,374	3,681	
人件費			2,253	2,289	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			4,627	5,970	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	インターンシップ受入表明事業所数			27	22	「インターンシップin東北」エントリー事業所数
02	インターンシップ受入企業数			11	14	交通費助成を申請した学生を受け入れた企業数

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

03	インターンシップ受入人数		17	37	交通費助成利用者数
----	--------------	--	----	----	-----------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

参加学生へのヒアリングから交通費助成があることを理由に市内企業を選択したことが分かり、助成制度の認知が進んだことが受入人数の増加の要因の一つと考えられる。また、受入プログラムが魅力的な企業には複数の学生が参加している。

問題点・課題等

人手不足が深刻化し、企業側の受入体制が整わない恐れがある。また、企業が独自に実施するインターンシップもあり、市内の全体的な実施状況の把握が難しい。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

インターンシップは企業理解を深める絶好の機会であるため、受入体制の充実を図るとともに交通費助成を継続する。また、参加者が実際に受入企業に就職したかについても把握に努める。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了